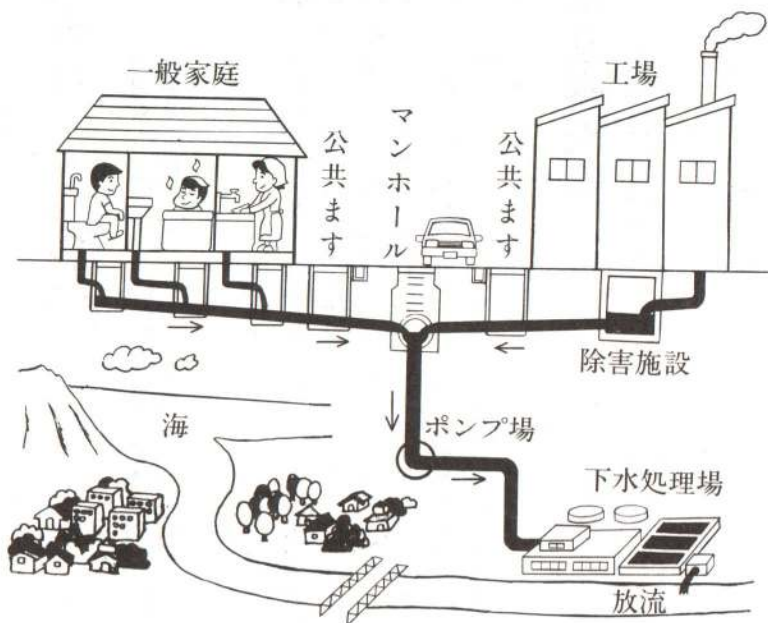


下水道のはなし

シリーズ4

下水道のしくみ

私たちが使って汚した水（汚水）は、どのようにしてきれい



にされ、川や海へ戻されるのでしょうか。
汚水は、図のように下水管によって集められ、下水処理場できれいにされます。
このコーナー、今回は下水管について、次回は下水処理場についてお知らせします。

下水管

◇下水管は分流式

下水を運ぶ方式には、合流式と分流式の二種類があります。合流式は、汚水と雨水を同じ下水管で運ぶ方式です。分流式

は、汚水と雨水をそれぞれ別の下水管で運ぶもので、汚水は下水処理場まで運ばれ、そこできれいな水に処理されますが、雨水は川などに直接放流するしくみになっています。地形・都市形態・経済性などを考えて、どちらかが選ばれます。大館市の場合、分流式を採用しています。

日本で使われている下水管で一番大きいものは、内側の直径が七メートルもありますが、大館市では、二十五センチのものが使われます。

◇ポンプ場

下水管は、勾配を利用して下水を流すしくみになっていますが、下水管理設の場所を深くしすぎると、清掃や修理が行いにくくなります。そこで、ところどころにポンプ場を設けて下水をくみ上げ、下水の水位を高くして、ふたたび勾配によって下水を流すのです。

◇工場には除害施設を設置

工場などで使われた水の中には、人体に有害な化学物質などが含まれることがあります。そこで、工場などで使われた水は、工場の中に設けられた除害施設で有害物質を取り除いてから、下水管に流すことになっています。このことは、下水道法によって義務づけられています。

県北空港建設候補地

鷹巣町大野台に！



県は四月一日、県北空港建設候補地として、鷹巣町大野台中屋敷付近を決定しました。

度）への組み入れを目指し、今年度一億円予算で、需要予測や気象観測など、詳細な調査を実施することになっています。

県北空港が実現すれば、県北一円の経済活動、教育文化の向上などに大きなメリットがあるのは言うまでもありません。しかし、実現までには、アクセス道の整備、空港経営の採算性、騒音対策など多くの課題が山積しています。

そこで、大館市をはじめ百四の団体から成る秋田県北空港建設促進期成同盟会では、今後、空港建設実現に向けて、より一層活発な運動を展開していきますので、皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。



秋田県北空港建設促進期成同盟会